令 和 8 年 度

鳥獣保護区等位置図

東京都

狩猟者の皆さん狩猟のマナーを守り事故防止に努めましょう

関係法令の遵守について

1． 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律等の法令に基づくルールやマナーを守って安全な狩猟を行うこと。
2． 出猟の際は必ず狩猟者登録証、猟銃・空気銃所持許可証（該当者のみ）を携帯し、胸部又は帽子に狩猟者記章を付けること。
3． 鳥獣保護区等の捕獲規制区域を図面や標識でよく確かめ、判断できない時は、狩猟を中止するか、狩猟関係の職員か地元の狩猟者にたずねて、誤りのない狩猟をすること。
4． 狩猟者登録証は、猟期満了後30日以内に返納すること。
5． 網猟免許、わな猟免許に係る猟具には、使用する猟具ごとに、見やすい場所に、住所・氏名・狩猟者登録証に記載された都知事名・登録年度・登録番号を記載した金属製又はプラスチック製の標識（１字縦１cm横１cm以上）を付けること。また、わなの設置数は１人30個以内とすること。

危険防止について

1． 銃器を手にした時及び銃器から手を離す時は、必ず装てんの有無を確かめること。
2． 発射の必要がおきる直前まで装てんしないこと。
3． 銃口を向ける等他人に危険感や嫌悪感を与えるような銃の操作は絶対にしないこと。
4． 発射の時は、必ず矢先を確認すること。矢先を確認できない場合は発砲しないこと。
5． わなを設置した場合は頻繁に点検を行い、事故、錯誤捕獲防止に努めること。

山火事防止等について

鳥獣の生息の場である森林を火災から守るため万全を期するとともに、農耕地や幼令造林地に踏み込んで所有者に被害を与えないようにすること。

狩猟のマナーについて

狩猟事故の多発や狩猟のマナー等について、世論の批判が見られるが、狩猟者としての正しいマナーを守り、いやしくも批判を受けるような行為は避けること。

鳥獣の放置等の禁止

捕獲した鳥獣は、原則として、全量を回収し、又は適切に埋設すること。

狩猟鳥獣の種類と東京都で狩猟のできる期間

狩　猟　鳥　獣　の　種　類	狩猟のできる期間
(鳥類26種)カワウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、エゾライチョウ、ヤマドリ(亜種のコシジロヤマドリを除く)(※)、キジ(亜種のコウライキジを含む)(※)、コジュケイ、ヤマシギ(別種のアマミヤマシギは含まれない)、タシギ、キジバト、ヒヨドリ(※)、ニュウナイスズメ、スズメ、ムクドリ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス (獣類20種)タヌキ、キツネ、ノイヌ、ノネコ、テン(亜種のツシマテンを除く)、イタチ(オスに限る)、シベリアイタチ、ミンク、アナグマ、アライグマ、ヒグマ、ツキノワグマ(※)、ハクビシン、イノシシ(雑種のイノブタを含む)、ニホンジカ、タイワンリス、シマリス、ヌートリア、ユキウサギ、ノウサギ	11月15日から翌年の2月15日まで。ただし、ニホンジカについては、青梅市、檜原村及び奥多摩町にあっては翌年の2月末日まで

※環境大臣又は東京都知事による捕獲禁止（東京都内）

捕獲禁止鳥獣	捕獲禁止場所
メスヤマドリ(コシジロヤマドリを除く)、メスキジ(コウライキジを除く)	都内全域
ツキノワグマ	八王子市、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村及び奥多摩町
ヒヨドリ	小笠原村全域

捕　獲　数　の　制　限

対　象　狩　猟　鳥　獣	１日当たりの制限羽数又は頭数
ヤマドリ、キジ	合計して　2羽
エゾライチョウ	2羽
コジュケイ	5羽
マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ	合計して　5羽 (網を使用する場合にあっては、狩猟期間ごとに200羽)
ヤマシギ、タシギ	合計して　5羽
キジバト	10羽

狩猟鳥獣の捕獲を禁止する猟法

・爆発物、劇薬、毒薬、据銃、危険なわな及びおとし穴の使用【危険猟法】
・ユキウサギ及びノウサギ以外の対象狩猟鳥獣の捕獲等をするため、はり網を使用する方法（人が操作することによってはり網を動かして捕獲等をする方法を除く。）
・口径の長さが10番の銃器又はこれより口径の長い銃器を使用する方法
・飛行中の飛行機若しくは運行中の自動車又は５ノット以上の速力で航行中のモーターボートの上から銃器を使用する方法
・構造の一部として３発以上の実包を充てんすることができる弾倉のある散弾銃を使用する方法
・装薬銃であるライフル銃（ヒグマ、ツキノワグマ、イノシシ及びニホンジカにあっては、口径の長さが5.9ミリメートル以下のライフル銃に限る。）を使用する方法
・空気散弾銃を使用する方法
・同時に31以上のわなを使用する方法
・鳥類並びにヒグマ及びツキノワグマの捕獲をするため、わなを使用する方法
・イノシシ及びニホンジカの捕獲等をするため、くくりわな（輪の直径が12センチメートルを超えるもの、締付け防止金具が装着されていないもの、よりもどしが装着されていないもの又はワイヤーの直径が４ミリメートル未満であるものに限る。）、おし又はとらばさみを使用する方法
・ヒグマ、ツキノワグマ、イノシシ及びニホンジカ以外の獣類の捕獲等をするため、くくりわな（輪の直径が12センチメートルを超えるもの又は締付け防止金具が装着されていないものに限る。）、おし又はとらばさみを使用する方法
・つりばり又はとりもちを使用する方法
・矢を使用する方法
・犬に咬みつかせることのみにより捕獲等する方法又は犬に咬みつかせて狩猟鳥獣の動きを止め若しくは鈍らせ、法定猟法以外の方法により捕獲等をする方法
・キジ笛を使用する方法
・ヤマドリ及びキジの捕獲等をするため、テープレコーダー等電気音響機器を使用する方法

東京都における鳥獣保護区等の区域

特 別 保 護 地 区

1．高尾特別保護地区（森林鳥獣生息地）
区　　域　　東京都八王子市高尾町所在東日本旅客鉄道高尾駅以西において、国道20号線と旧甲州街道との間に所在する国有林の地域及びこの地域内に介在する社寺有地並びに同国有林に接続する八王子市有林の区域。ただし、都道189号線の以北の社寺有地並びに林道日影線及び林道日影線の終点に接続する作業道以北の八王子市有林を除く区域
面　　積　504ヘクタール
存続期間　令和4年11月１日から令和24年10月31日まで

2．奥多摩湖特別保護地区（森林鳥獣生息地）
区　　域　　東京都奥多摩町大字原字ぞうざす14番地の３先のあずまトンネル東側入口を基点として、同地点から方位南を見通し奥多摩湖南岸岬奥多摩町大字川野字山なし1474番地先の管理道路に達し、同地点から管理道路を奥多摩湖上流に向かって進み、奥多摩町大字川野字本田1139番地先の岬に至り、同地点から方位北を見通し奥多摩湖北岸奥多摩町大字川野字麦山174番地の１先麦山橋東側に達し、同地点から国道411号線を東方に進み、奥多摩町大字川野字麦山142番地先に至り、同地点から小径を北方に進み、同町大字川野字いぬえ1049番地先を経て雲風呂橋に至る小径との交点に至り、同地点から同小径を東方に進み、雲風呂橋右岸西端に至り、同橋を渡り左岸東端に至り、同地点から小径を南東方に進み町道小河内秩父線との交点に至り、同地点から同線を南東方に進み国道411線との交点に至り、同地点から同線を北東方に進み、坂本トンネル及びあずまトンネルを経て基点に至る線に囲まれた一円の区域
面　　積　110ヘクタール
存続期間　令和7年11月１日から令和27年10月31日まで

3．御岳特別保護地区（森林鳥獣生息地）
区　　域　　青梅市と奥多摩町との境界線上に位置する大塚山山頂を基点とし、同点から青梅市と奥多摩町との境界線を北東方に進み、青梅市御岳山21番地と青梅市御岳二丁目490番ロの境界線との交点に至り、同点から青梅市御岳山と青梅市御岳二丁目との境界線に沿って時計回りに進み、関東ふれあいの道との交点に至り、同点から関東ふれあいの道に沿って南東方に進み、青梅市御岳二丁目603番と同所604番の境界線との交点に至り、同点から同境界線に沿って南東方に進み、青梅市と日の出町の境界線との交点に至り、同点から同境界線に沿って南西方に進み、青梅市とあきる野市と日の出町の境界線との交点に至り、同点から青梅市とあきる野市との境界線に沿って時計回りに進み、養沢川との交点に至り、同点から尾根に沿って南西方に進み、高岩山山頂に至り、同地点から尾根に沿って西方に進み、青梅市とあきる野市と奥多摩町の境界線との交点に至り、同地点から尾根に沿って北方に進み、鍋割山山頂に至り、同地点から青梅市と奥多摩町との境界線に沿って時計回りに進み、基点に至る線により囲まれた区域
面　　積　325ヘクタール
存続期間　平成24年10月31日から令和14年10月30日まで

4．奥多摩特別保護地区（森林鳥獣生息地）
区　　域　　東京都西多摩郡奥多摩町所在都有林（東京都水道水源林日原分区）中38、39及び50から57までの林班の区域一円
面　　積　1,173ヘクタール
存続期間　令和6年11月１日から令和26年10月31日まで

5．村山山口特別保護地区（身近な鳥獣生息地）
区　　域　　東京都西多摩郡瑞穂町及び武蔵村山市所在、東京都水道局山口貯水池用地一円の区域
面　　積　136ヘクタール
存続期間　令和8年11月１日から令和28年10月31日まで

6. 三頭山特別保護地区（森林鳥獣生息地）
区　　域　　東京都西多摩郡檜原村三頭山中岳山頂を起点に檜原村と奥多摩町の境界の尾根を進み、東岳山頂より東方に約650メートルのヒノキ植栽地沿いの沢を南東に下り、三頭沢との合流を経て三頭大滝上部から南方の尾根へ上がる。尾根を西方に山梨県境へ至り西原峠からの尾根を北西に向かい、大沢山を経由して三頭山中岳山頂に至る一円の地域
面　　積　80ヘクタール
存続期間　平成20年７月１日から令和10年６月30日まで

7．御蔵島特別保護地区（希少鳥獣生息地）
区　　域　　御蔵島御山山頂を基点とし、同点から乙女御山線歩道を東方に進み、御山縦走線歩道との交点に至り、同点から同歩道を南東方に進み、同歩道と長滝山線歩道との交点に至り、同点から尾根を南東方に進み、つぶねの森山頂に至り、同点から尾根を南西方に進み、川口の滝下を経て平清水川と海岸線との交点に至り、同点から尾根を北西方に進み、乙女峠に至り、同点から乙女御山線歩道を北東方に進み、基点に至る線により囲まれた区域
面　　積　252ヘクタール
存続期間　平成26年11月１日から令和16年10月31日まで

8．小笠原群島特別保護地区（希少鳥獣生息地）
区　　域　　小笠原群島鳥獣保護区のうち、聟島列島の島しょの全域、父島列島の父島の一部（字扇浦22番2の西端を起点とし、同所から都道240号線沿いに直線で150m北進した地点に至り、同所から直線で字扇浦20番7の南西端に至り、同所から連珠谷国有林19林班へ1小班の境界線を南進し字扇浦21番の南東端に至り、同所から直線で字扇浦21番2の北西端に至り、同所から同小班の境界線を南進し字扇浦21番2の南東端に至り、同所から南方に直線で字扇浦22番2の北東端に至り、同所から同林班ち小班の境界線を西進し起点に至る線に囲まれた区域、字扇浦30番1、同30番2、同31番1、同33番5、同33番6、同33番7、同33番8、同33番39、同61番、同62番、同63番、同64番1、同65番、同66番、同67番7（字扇浦67番1、同67番7が接する境界線から同68番1に接する延長線より北の区域に限る。）、同68番1、同70番、同71番、同72番、同73番、同75番、同76番、同77番、同101番、同103番、同104番、同105番、同106番、同107番、同108番、同115番、

同116番、同117番、同125番1、字二子4番1（字二子3番1と字扇浦69番との境界線の延長線より北の区域に限る。）、同7番2、同8番3、同8番4、同9番2、同13番2、同24番2、同30番（字扇浦73番の北西端と南西端を結ぶ直線の延長線より北東の区域の限る。）、字小曲3番7、同4番7、同5番2、同5番3、同7番1、同8番1、同9番1、同10番1、同10番3、同11番1、同12番1、同12番2、同13番、同14番、同15番、同16番、同17番、同18番、同19番、同20番、同21番、同22番、同37番1、同38番1、同38番3、同39番1、同75番、同76番1、同77番1の区域に限る。ただし道路を除く。）、孫島、東島、南島及び巽島並びにこれらの島に属する島しょの全域、さらに母島列島のうち向島、鰹鳥島、中鰹鳥島、小鰹鳥島、丸島、二子島、平島、姉島、妹島及び姪島並びにこれらの島に属する島しょの全域
面　　積　1,377ヘクタール
存続期間　令和元年11月１日から令和21年10月31日まで

9．祇苗島特別保護地区（集団繁殖地）
区　　域　　東京都神津島村祇苗島の区域
面　　積　12ヘクタール
存続期間　平成22年11月１日から令和12年10月31日まで

10. 西之島特別保護地区（集団繁殖地）
区　　域　　東京都小笠原村西之島の区域
面　　積　29ヘクタール
存続期間　平成20年８月１日から令和9年10月31日まで

11. 北硫黄島特別保護地区（集団繁殖地）
区　　域　　東京都小笠原村北硫黄島の区域
面　　積　557ヘクタール
存続期間　平成21年11月１日から令和11年10月31日まで

12. 大野原島特別保護地区（集団繁殖地）
区　　域　　東京都三宅島三宅村大野原島の区域
面　　積　8ヘクタール
存続期間　平成22年11月１日から令和12年10月31日まで

13. 八丈小島特別保護地区（希少鳥獣生息地）
区　　域　　八丈小島（八丈小島周辺の岩礁を含む。）
面　　積　307ヘクタール
存続期間　平成29年11月1日から令和19年10月31日まで

14. 葛西沖三枚洲特別保護地区（集団渡来地）
区　　域　　東京都江戸川区臨海町六丁目地先の葛西渚橋の西なぎさ側橋脚を起点とし、西なぎさ汀線を東に進み、西なぎさ汀線に沿って西なぎさ東側の南端に至り、同所から西なぎさ南側汀線を西に進み、西なぎさ西側の突堤南端に至り、同所から西に見通し、その見通し線を西に進み荒川左岸延長線との交点（北緯35度38分8.631秒、東経139度50分58.027秒）に至り、同所から荒川左岸延長線を南進し海上の点（北緯35度37分14.859秒、東経139度50分53.410秒）に至り、同所から南東に進み海上の点（北緯35度37分1.639秒、東経139度51分58.245秒）に至り、同所から北東に進み海上の点（北緯35度37分19.279秒、東経139度52分8.330秒）に至り、同所から北進し海上の点（北緯35度37分59.837秒、東経139度52分7.482秒）に至り、同所から西に進み海上の点（北緯35度37分59.364秒、東経139度52分1.959秒）に至り、同所から西を見通し東なぎさ突堤の汀線との交点（北緯35度37分59.365秒、東経139度51分59.681秒）に至り、同所から汀線沿いに東なぎさ北端に至り、同所から西進して起点に至る線に囲まれた区域
面　　積　367ヘクタール
存続期間　平成30年10月17日から令和20年10月16日

鳥 獣 保 護 区

1．石神井鳥獣保護区（身近な鳥獣生息地）原指定 昭和13年10月1日から
区　　域　　都道千代田練馬田無線と都道下石神井大泉線との交点（練馬区石神井町六丁目32番地先）を基点とし、同点から都道千代田練馬田無線を西方に進み、同線と練馬主要区道39号線との交点（練馬区石神井台五丁目24番地先）に至り、同点から練馬主要区道39号線を南方に進み、同線と練馬一般区道23－119号線との交点（練馬区石神井台四丁目1番地先）に至り、練馬一般区道23－119号線を西南方に進み、同線と練馬一般区道23－140号線との交点（練馬区石神井台四丁目2番地先）に至り、練馬一般区道23－140号線を東南方に進み、同線と石神井川右岸との交点（練馬区上石神井三丁目35番地先）に至り、同点から石神井川右岸を下流に進み、同河川と練馬一般区道23－460号線との接点（練馬区上石神井三丁目22番地先）に至り、同点から練馬一般区道23－460号線を東方に進み、同線と区有23－266号線との接点に至り、同点から区有23－266号線を東方に進み、同線と練馬一般区道23－395号線との接点に至り、同点から練馬一般区道23－395号線を東方に進み、同線と練馬一般区道23－392号線との接点に至り、同点から練馬一般区道23－392号線を東南方に進み、同線と区有23－20号線との接点に至り、同点から区有23－20号線を東南方に進み、同線と練馬一般区道23-360号線との接点に至り、同点から練馬一般区道23－360号線を南東方に進み、同線と区有23－287号線との接点に至り、同点から区有23－287号線を南東方に進み、同線と区有23－288号線との接点に至り、同点から区有23－288号線を東北方に進み、同線と区有23－306号線との接点に至り、同点から区有23－306号線を東北方に進み、同線と区有23－305号線との接点に至り、同点から区有23－305号線を東北方に進み、同線と区有23－304号線との接点に至り、同点から区有23－304号線を東北方に進み、同線と都道下石神井大泉線との接点に至り、同点から都道下石神井大泉線を北方に進み、同線と区有21－70号線との接点に至り、同点から区有21－70号線を東北方に進み、同線と練馬一般区道21－383号線との接点に至り、同点から練馬一般区道21－383号線を東北方に進み、同線と区有21－206号線との接点に至り、同点から区有21－206号線を北方に進み、同線と区有21－15号線との接点に至り、同点から区有21－15号線を東北方に進んだ後東南方に進み、同線と区有21－77号線との接点に至り、同点から区有21－77号線を東方に進み、同線と練馬一般区道21－